



旭市のさまざまな情報を
Facebookで公開しています
旭市 Facebook

検索



あさひ 見聞録

けん

ぶん

ろく

旭市総合防災訓練

大規模災害に備えのできた地域づくり



②



③

大規模災害を想定し共和小で9月4日、総合防災訓練が行われました。房総沖を震源とする大地震が発生し、旭市では震度6弱を記録、道路の崩壊、家屋の倒壊や火災が発生したという想定で実施。この日訓練に参加した住民や関係者2,165人は、建設業者などによる避難路確保や、自衛隊をはじめ医療や消防関係者による人命救助のほか、住民が参加しての土のう積みや初期消火など、さまざまな訓練を行いました。

海岸沿線地区では津波避難訓練も実施され、大津波襲来に備え避難場所へと向かう参加者たちの姿がありました。

- ①救命救急訓練でのトリアージ
- ②初期消火訓練で水消火器の体験
- ③津波避難タワーに避難する海岸地区住民



①

8月21日 道の駅季楽里あさひの来場者が100万人に



記念セレモニーであいさつをする加瀬さん(中央)

昨年10月に開業した道の駅季楽里あさひの来場者が、100万人に達したのは「季楽里あさひで行われるいろいろなイベントに、いつも参加している」と言う加瀬清一さん(イ)。この日行われた記念セレモニーでは、記念品や市の特産品などが贈られました。

8月20日 サッカー元日本代表が夢を持つ大切さを講演

東総運動場で「キッズサマーフェス」が開催。ダンスやフットサルの大会などが行なわれたほか、サッカー元日本代表鈴木隆行さんによる、講演会やサッカークリニックも行われました。クリニック後に行われたフットサルでは、全力でボールを追いかける鈴木さんと子どもたちの姿がありました。



鈴木さんとフットサルをする参加者

高齢者叙勲

瑞宝双光章

(教育功労)
正田文雄さん
88歳(鎌数)



昭和23年に海上郡旭町立旭小学校に奉職して以来、海上郡飯岡町立飯岡小学校長で退職されるまでの41年余にわたり、学校教育をはじめ社会体育、教育行政の多方面から地域教育の振興に尽力されました。



写真と併せて体験談を紹介

震災から五年～見つめ直そう 私たちに出来る事～

震災を経験した若者が未来へつなぐ

震災から5年が経過し、これからどのように震災と向き合い、何をすべきかをテーマに「震災から五年～見つめ直そう 私たちに出来る事～」が、東総文化会館で9月10日に開催されました。

第一部では、津波から稲むらを燃やして村人を救った「稲むらの火」の人形劇を公演。第二部では「あさひ「未来へ向けての一步」」と題し、被災映像の上映や体験談を紹介したほか、来場者に震災体験のインタビュー、震災が起きたらどうするかについての意見交換が行われました。

第12回旭市児童生徒科学作品展

子どもたちの夏休みの成果が大集合

市内小中学校生の夏休みに行った工作や論文を集めた作品展が、9月10日に海上公民館で開催され、多くの人が訪れていました。なお特別賞受賞の中から9作品が県展に出品されます。県展出品者は次のとおり(敬称略)。

工作／小澤健翔(中央小・6年)、瀬畑凛(嚶鳴小・5年)、伊藤日葵(豊畑小・3年)、新居瑠偉(嚶鳴小・6年)

論文／鈴木倫(共和小・6年)、平野暖佳(滝郷小・2年)、渡辺悠楓(干潟小・5年)、嶋田莉子(二中・1年)、大森陸登(二中・2年)



展示された作品を手にする子どもたち

9月11日 飯岡を舞台にサーフィン大会が開催

東日本大震災で被災したサーフショップなどが、観光復興を目的に開催する「第4回九十九里観光SURFING-CUP」が飯岡海岸で行われました。日本サーフィン連盟公認大会として、地元選手をはじめ全国から集まったトップアマたちが各クラスに分かれ、技を競い合っていました。



ターンを決める選手

9月11日 卓球男子日本代表を決める大会が旭市で開催



代表内定を決めた龍崎選手

世界ジュニア卓球選手権大会に出場する、男子日本代表の選考会が、9月8日～11日に総合体育館で開催。16人のリーグ戦を制し、龍崎東寅選手(JOCエリートアカデミー／帝京)が日本代表に内定しました。世界ジュニア卓球選手権は11月30日(水)から、南アフリカで開催されます。

9月3日 幽学ゆかりの里で農村文化を体験

大原幽学ゆかりの水田で行われる米作り交流事業として、稲刈り体験が行われました。

この日は稲刈り作業の前に、刈り取った稲を束ねる縄を、稲わらで作る作業も体験。参加した家族は「難しくて、なかなかきれいにできないですね」などと笑顔で話していました。



家族で縄作りに挑戦